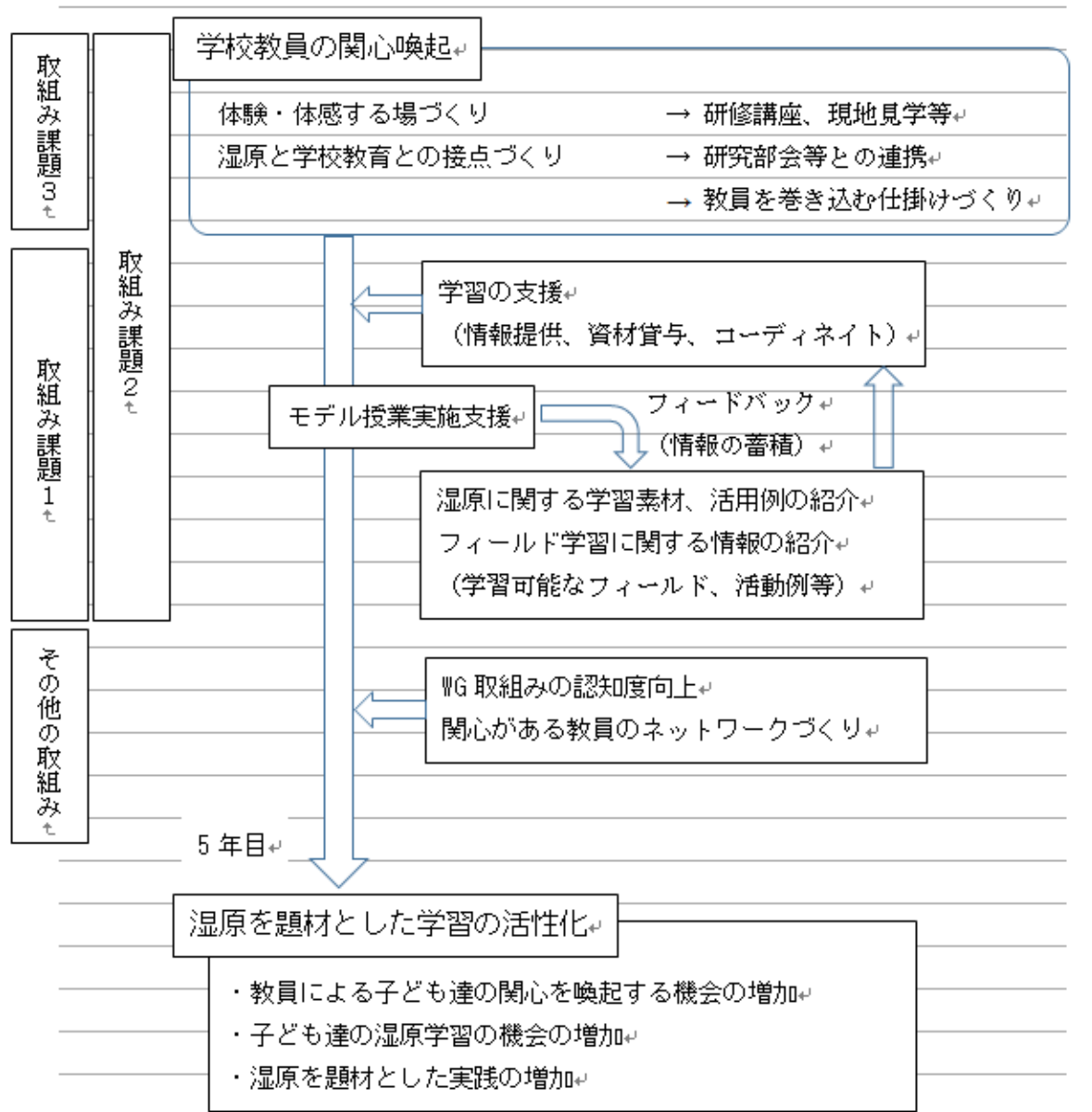


## ワーキンググループの当面の取組みについて(案)

## 1. 取組みのプロセス

ワーキンググループの3つの取組み課題について、取組みを進めるにあたって、「取組み課題3 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及」の重要性を指摘する意見を多く受けたことから、「取組み課題2」の視点を持ちながら「取組み課題3」を重点事項として、学校や教員を巻き込む仕掛けづくり、教員を対象とした体験学習の機会づくり等の取組みを重点的に進めることとする。

これらのプロセスで必要となる情報や支援、実践から得られた成果を「取組み課題1」にフィードバックすることで、3つの取組み課題の推進にあたることとする。



## 2. 当面の取組み

### 1) .『取組み課題1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用』について

- ・これまで作成した学習資料の修正、追加資料の作成
- ・学習素材の活用例の紹介
- ・学習可能なフィールドの見える化（フィールドマップの作成）
- ・各フィールドでの学びの方法の見える化（アクティビティ、ワークシート等の蓄積）
- ・各種支援
  - 学習実施にあたっての相談対応
  - 各種資料の提供、関連資材の貸出

### 2) .『取組み課題2. 自然再生の学校教員への活用促進』について

- ・他のフィールドの現地見学会の実施
- ・授業づくりや実践の実現に向けたコーディネート（モデル授業実施支援）
- ・各種支援
  - 専門家紹介等、学習実施にあたっての相談対応
  - 各種資料の提供、関連資材の貸出

### 3) .『取組み課題3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及』について

- ・釧路教育研究センターと連携した教員研修講座の実施
- ・研究部会等と連携した体験講座・現地見学会の開催
- ・学校や教員を巻き込む仕掛けづくり  
《取組み例》
  - 自由研究や学校での実践内容等、子どもたちの取組みの発表の場づくり、学びの支援を通じた学習の活性化
  - 学習指導要領改訂を見据えた切り口からの働きかけ（アクティブラーニングの実践素材としての提案、実践づくり等）

### 4) .その他

- ・教員との接点づくり、ワーキンググループが行う取組みの認知度向上（PR活動）
  - 教員の関心に沿ったPRパンフレットの作成・周知
  - 研究部会（教員の集まり）や研修講座等での案内
  - 教員の関心に沿う形でとりまとめたWEBサイトの作成（現サイトの改修）
  - マスコミやSNS等を通じたPR
  - 関心がある教員のネットワークづくり（メーリングリスト等による情報交流）
  - ビジターセンター利用校への情報提供、意向ヒアリング等

### 3. 取組みプロセス

	1. 学習素材の 収集、活用促進	2. 自然再生の 活用促進	3. 教員の 関心喚起等	4. その他 (接点づくり、 認知度向上)
第2回 WG (2015 冬)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第1回 WG 開催後の状況共有、当面の取組み・重点取組みに関する議論</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">重点事項の実施に向けた検討、各種調整</div> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 25%;">・活用例、写真資料等の WEB への掲載</li> <li style="width: 25%;">・実践(モデル授業)の検討</li> <li style="width: 25%;">・チラシの作成、配布</li> </ul>			
2016 年度 (2 年目)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">重点事項の詳細検討、準備、実施</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種情報の WEB 掲載</li> <li>・必要な支援策の検討、準備、支援の実施</li> </ul> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践(モデル授業)の支援</li> <li>・他フィールドの現地見学</li> <li>・各フィールドで学習可能な内容の検討</li> <li>・実践に向けた働きかけ</li> </ul> </div> <div style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修講座等の実施</li> <li>・研究部会等との各種調整、企画</li> <li>・教員を巻き込む仕掛けづくり【本 WG において議論】</li> </ul> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PR 活動</li> </ul> </div>			
2017 年度 (3 年目) ～ 2018 年度 (4 年目)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">重点事項を中心とした取組みの実施 (各年度の実施内容の評価、各年度の重点項目の議論)</div>			
2019 年度 (5 年目)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3 年間の取組みの評価 (流域圏の学校へのアンケート調査) 取組みの定着および普及に向けた仕組みの検討・実践 支援内容のとりまとめ、学校・教員への働きかけ</div>			